

魅力ある 大学生にも インタビュー

明日へ ジャンプ

特別編 No.177

台本にない自分の言葉で
学校の魅力を伝えていきたい

東京福祉大学 保育児童学部 3年 ^{はぎもと しゅんや} 萩本 舜也 さん

萩本さんはオープンキャンパスの学生スタッフとして、来場者に大学の魅力を伝える役割を担っています。そんな萩本さんに活動を始めたきっかけを聞きました。

「高校生の時、学校に何か貢献をしたいという思いから、オープンスクールのスタッフとして活動することを希望していました。その願いはかないませんでした。大学進学後もその思いは強く、オープンキャンパスの学生スタッフを募集する案内を見て迷わずに応募しました」

1年生の頃から活動を始め、今では70人を超える学生スタッフの中心的なメンバーとして活躍する萩本さん。来場者を案内する際に意識をすることがあるそうです。

「来場者が安心して、何でも聞けるような雰囲気づくりを意識しています。特に、学内を案内する道中は、自らの言葉で来場者に声をかけて信頼関係を築けるように努力しています」

今では、大学の魅力や特徴を積極的に来場者に伝えている萩本さんですが、活動を始めた当初は難しいことも多か

ったと言います。

「初めの頃は、緊張して自分から声をかけられませんでした。そんな状況を変えるため、先輩スタッフたちの接し方を観察し、さまざまな対応方法を学びました。そして、経験を積むことで自信が付き、臨機応変に対応できるようになりました」

活動を通して、コミュニケーション能力や柔軟性を養うことができたという萩本さんに将来の夢を聞きました。

「子どもたちの成長に関わることができる保育士を目指すことです。この活動で養ったことを生かし、子どもや保護者、同僚など誰からも信頼される保育士になりたいです」

プロフィール

はぎもと・しゅんや
小学生の頃に通った学童保育で、自分より小さな子とよく遊んだことをきっかけに保育士を目指す。休日は、録画したドラマを見たり、友達とカラオケに行ったりして過ごしている。最近では父親との銭湯巡りも楽しみの一つ。

